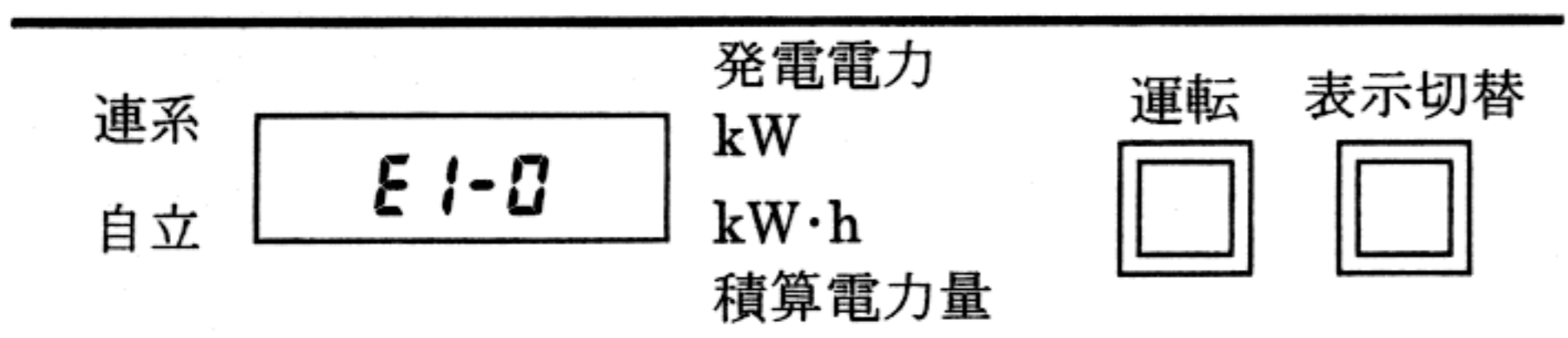
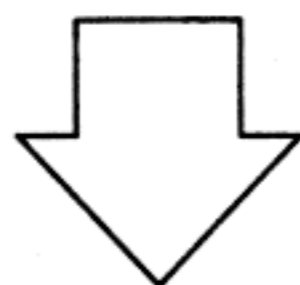


停電時の使い方 (自立運転)

パワーコンディショナは、停電などにより電力会社から電力が供給されなくなっても、太陽電池が発電する電力を使用することができます。ここでは、その方法について説明します。

- 太陽光発電用ブレーカを‘オフ’にしてください。

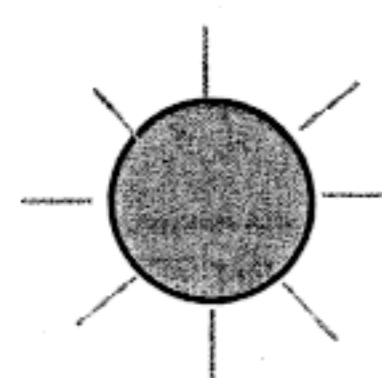
(交流側)



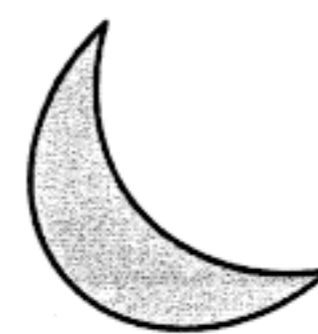
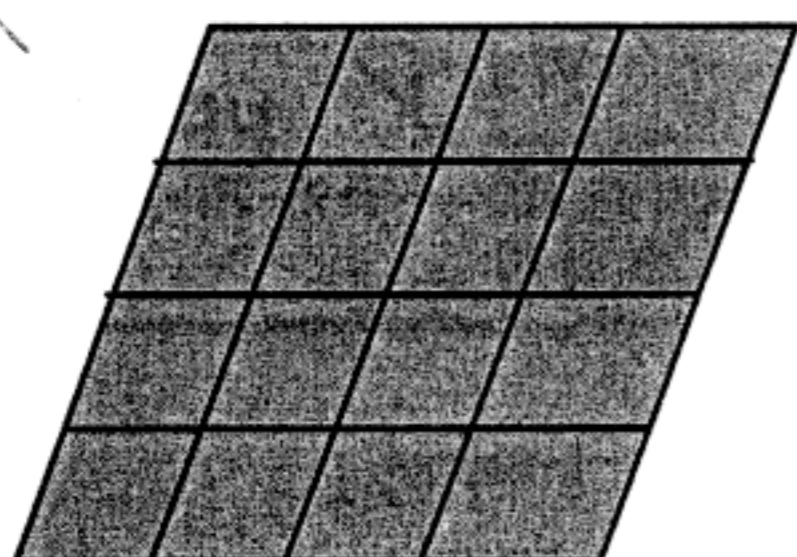
- 表示部に「E 1-0」、表示部の中央に「.」、または、カウントダウンが表示されていれば、太陽電池は発電しています。
- 連系運転で発電していた場合、運転スイッチを一度‘オフ’にしてください。



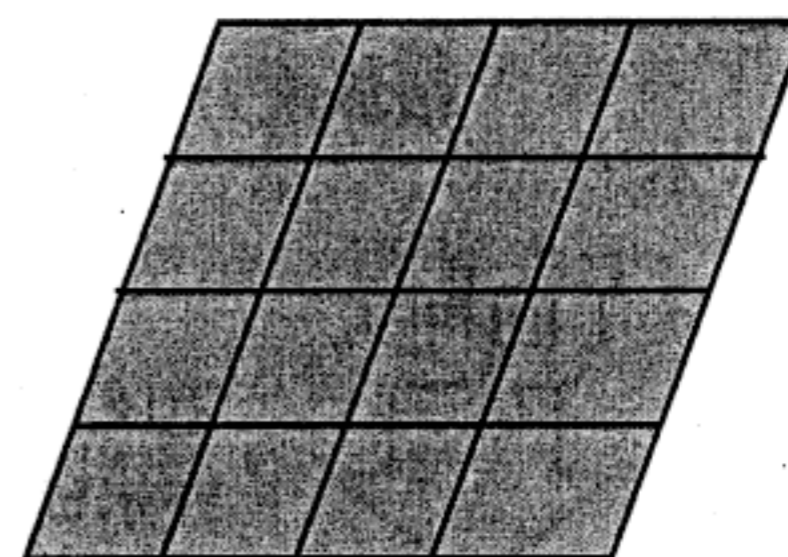
オフ



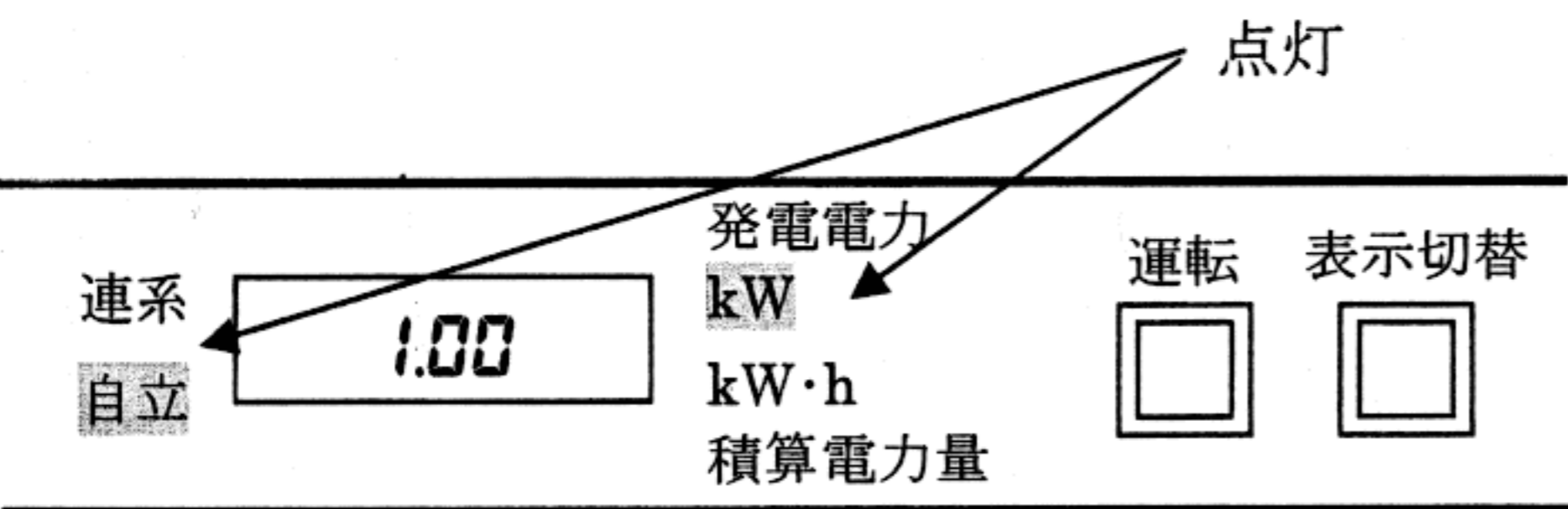
太陽電池が発電していると



太陽電池が発電していないと



太陽電池が発電するまで、すべての表示は消灯します。



- 運転スイッチを‘オン’にしてください。
- 自立ランプが点灯し、運転を開始します。



オン

停電用コンセント (AC100V/15A) に使用したい機器を接続してください。

- 運転を停止させる場合は、運転スイッチを‘オフ’にしてください。
- 運転を停止した後、太陽光発電用ブレーカを‘オン’にすると表示部にカウントダウンを表示します。
- 接続する機器の電力の最大が 1.5kVA 以内(AC100V 最大 15A 以内)になるようにしてください。
- 発電量は天候により変化しますので停電すると困る様な機器 (パソコン、医療機器等) は接続しないでください。また、掃除機や冷蔵庫など、電流が急激に流れる機器を使用すると、保護機能が働き停止することがあります。